尿路上皮癌の治療を受けられた皆様へ

弘前大学泌尿器科学講座では下記の臨床研究に用いるため，尿路上皮癌の治療を受けられた皆様の情報を利用させていただいておりますので，お知らせいたします

研究課題名：	尿路上皮癌に対する手術・放射線療法前後の補助療法の有効性についての検討：多施設共同後ろ向き研究
研究の目的：	
本研究では、膀胱癌、腎盂尿管癌、等の尿路上皮癌に対する根治療法（手術や放射線治療）を受けた患者さんを対象に過去の臨床データ（既存資料）をもとに、尿路上皮癌の治療効果と効果を検討し、現状把握と今後の治療指針を検討することを目的とします。	
研究実施期間：	（実施許可日）　～　2032 年　3 月　31 日
対象となる方：	2005 年 1 月～2031 年 3 月 31 日までに、以下の施設で尿路上皮癌に対し治療を行なった患者を対象にします。弘前大学附属病院泌尿器科、岩手医科大学附属病院泌尿器科、秋田大学附属病院泌尿器科、東北大学附属病院泌尿器科、宮城県立がんセンター泌尿器科、東北医科薬科大学附属病院泌尿器科、山形大学附属病院腎泌尿器外科、福島県立医科大学附属病院泌尿器科、筑波大学附属病院腎泌尿器外科学、国際医療福祉大学成田病院腎泌尿器外科
利用させていただきたい試料・情報について	
2005 年 1 月以降に、本研究参加施設で尿路上皮癌の治療を受けた方々を対象に治療の情報（背景、病気のステージ、病理情報、病理サンプル、予後情報）を集積致します。対象の患者さんの臨床情報は個人が特定されない形に匿名化された後、弘前大学泌尿器科学講座で集積しデータベース化した後、各施設に配信されデータ解析を行います。既存情報を利用しますので、原則として受診者の方に不利益や新たな侵襲、負担が発生することはありません。利用に当たっては氏名等の個人を特定できる情報を削除して使用します。また本文書により情報公開をし、拒否機会を保障します。研究成果は学会発表や論文投稿等で公表されますが，その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えできませんが，全体の結果は提供可能です。この研究では、研究費用として科学研究費と文部科学省の研究費、その他公的な研究費を用いますので研究に関する負担はありません。	

本研究課題について，より詳細な内容をお知りになりたい場合や，試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は，以下の連絡先までご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合，当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし，連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は，該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので，ご了承願います。

本件連絡先	泌尿器科学講座・畠山真吾　shingoh@hirosaki-u.ac.jp 連絡先：弘前大学　医学部　泌尿器科学講座（月～金：9：00-17：00） 電話 0172－39－5091、FAX0172－39－5092